

九州体育・保健体育ネットワーク「北海道どさんこラウンド」報告

東京都立六郷工科高等学校 杉山正明

「第51回全国学校体育研究大会 北海道大会」第2日目終了後に、札幌市にある北海道教育大学札幌サテライト校で、九州体育・保健体育ネットワーク「北海道どさんこラウンド」が40名以上の小学校・中学校・高等学校・大学・教育委員会の先生方の参加のもと開催されました。鹿屋体育大学の佐藤豊先生や筑波大学の岡出美則先生、北海道教育大学の古川善夫先生をはじめ、今回の第8分科会で発表された札幌市立稲陵中学校 市川みお先生や九州体育・保健体育ネットワーク所属の先生方が参加され、今回の北海道大会のシンポジウムや公開授業の振り返りを中心とした研究協議が活発に行なわれました。

まず、筑波大学の岡出美則先生よりシンポジウムのテーマである「指導と評価の一体化を目指した授業づくり」についての補足説明や今後の在り方についての解説や今回、発表された市川先生から「今までの実践のこと」や「今思っていること、これからのこと」などについての率直なご意見など、とても貴重なお話を聞くことができました。

その後は、鹿屋体育大学の佐藤豊先生の進行により「実践報告に基づくグループ協議」が活発に行われました。総括として、佐藤先生からは指導案の改良の余地、指導と評価の一体化の更なる定着、教師の指導の明確などが今後の課題であるなどの有意義なコメントをいただきました。

このような全国的な研究発表の後に、所属を超えて各分科会の内容についての報告や公開授業の振り返りの場は発表内容のシェアのみならず、いろいろな視点から授業をみることの具体を知ることができ、とても貴重な充実した研修会でした。

詳細につきましては、九州体育・保健体育ネットワーク通信をご覧ください。